

「福祉のまちづくりフォーラム2025」開催要項

1. 趣 旨

少子高齢化や人口減少が進む中、地域や家族のカタチは変化し、地域住民が抱える課題はますます複雑で多様なものになっています。私たちの身近な地域にも、制度の狭間に置かれ支援が届きにくい日常の困りごとや孤独、孤立など、目に見えにくい課題が存在しています。こうした中で、地域住民同士の日常的な助け合いやあたたかい見守りは、これまで以上に欠かすことのできない大切な取り組みです。

本フォーラムでは、「誰もが主役になれる」地域づくりを目指し、一人ひとりが持っている力や得意なことを活かしながら、地域に貢献する方法を共に考えます。

2. テー マ 誰もが主役、ほっこり笑顔が広がるまちづくり ～今も、これからも安心して暮らせる地域を目指して～

3. 主 催 社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

4. 日 時 令和7年10月17日（金） （12：30 受付開始、13：00 開会、16：00 閉会）

5. 会 場 不二羽島文化センター みのぎくホール（羽島市竹鼻町丸の内6丁目7）

6. 参加対象 社協役職員、福祉に関する団体、福祉活動に関心のある方

7. 参加定員 300名（定員になり次第締め切り）

8. 参 加 費 無 料

9. 参加申込 下記のいずれかの方法でお申し込みください。 ①市町村社協は、参加者をとりまとめ、別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、 10月3日（金）までにお申し込みください。 ②個別で申し込まれる場合は、下記 URL または右記 QR コードより、 10月3日（金）までにお申し込みください。 ⇒【申込フォーム】<https://forms.gle/B1meRZNSPRh4YLFr6> なお、午後からの開始となりますので、昼食の斡旋はありません。



10. その他

- ・事後アンケートを配布しますので、アンケートにご協力ください。
- ・本フォーラムの参加申込受付を通じて取得した個人情報については、本フォーラムの運営に関する業務以外の目的には使用しません。
- ・開会前（12:30～13:00）と休憩時間（14:40～14:55）に、セルフ商品の販売を行います。ぜひ、お買い求めください。
- ・台風等の災害や不測の事態で事業を中止する場合は、本会ホームページに表示しますので、前日及び当日に本会ホームページでご確認ください。

11. 日 程

12:30～13:00 受 付

13:00～13:05 開 会

13:05～13:45 実践レポート①

「得意を活かして支え合う、みんなでつくる笑顔のまち」

森山団地支え合い活動「団和室」 代 表 青木 輝男 氏

副代表 松川 芳高 氏

会 計 河合 康幸 氏

美濃加茂市社会福祉協議会 地域福祉課 森田 理恵子 氏

深堀 信 氏

美濃加茂市の森山団地では、住民同士が助け合い、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。2024 年に有志の住民たちによって立ち上げられた「団和室」では、それぞれが得意なことを持ち寄り、できる範囲で生活支援ボランティアや親睦交流活動に取り組んでいます。住民自身も楽しみながら活動することで、団地全体を活気づけています。

13:45～14:25 実践レポート②

「“認知症になっても大丈夫” と思えるまちを目指して」

若年性認知症当事者 臼井 常世 氏

社会医療法人清光会 清流ぱらす施設長・「みずほおれんちぷろじえくと」実行委員 坪内 貴志 氏

瑞穂市地域包括支援センター 名和 めぐみ 氏

小川 晶子 氏

瑞穂市では、認知症になっても安心して暮らし続けられるまちづくりを目指し、「みずほおれんちぷろじえくと」をはじめとする地域イベントを通じて、啓発活動を進めています。これらの取り組みには、若年性認知症の当事者も実行委員として参加しており、その声や想いを大切にしながら、地域全体に支え合いの輪を広げています。

14:25～14:40 ディスカッション

14:40～14:55 休 憩

14:55～15:55 講 演 「誰もが主役になれる、ほっこり笑顔が広がるまちづくり」

日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授 川島 ゆり子 氏

16:00 閉 会

12. 駐車場 別添チラシ裏面に記載しておりますのでご参照ください。

照会先

岐阜県社会福祉協議会 総務企画部

地域福祉・ボランティア担当（担当：高慶^{こうけい}）

TEL：058-201-1546

E-mail：kokei-misaki@winc.or.jp